

未来を創る 思いを引き継ぎ、市民生活を守る。



# 山崎 ともゆき

七尾市議会  
2022-2023報告

## 市民生活を守るための、予算を!!

巨額の税金支出について、市民への説明責任を求める。

### 1. 市民の生活を守る予算の確保を、市長に強く要望するも。。。.

- 5億円を超える、公共施設の大規模改修計画
- 事業費が当初計画の約5倍となった、市主催のイベント

本会議で需要予測や事業効果について質問も、不明瞭な答弁が続いたため、予算委員会で重点的に審査を行う。物価・原油高騰が続く状況で、市民生活への深刻な影響が拡大しており、「税金の支出」や「事業の執行」について行政担当能力に疑問の声が高まる。市民生活を守るための、補正予算の編成を強く求める。

山崎智之氏(灘会) 原油高騰に伴い施設の委託費が増えたか。楠企画振興部長 電気料金を算出する単価のうち公共施設の高圧単価は昨年12月から9倍に増額補正をお願いしている。

山崎氏 テレビドラマ国際会議の事業費は当初の約5倍だ。新野産業部長 内容の充実や注目度の高いゲストを招く予定だ。

令和4年(2022年)12月8日(木)北國新聞 朝刊 24面

### 原油高騰で 委託費増加

引きこもりや不登校支援団体に聞き取り  
七尾市が議会要望受け  
七尾市は、市議会定例会九月会議の一般質問を受け、子ども引きこもりや不登校などの悩みを抱える親子らを支援する十団体に電話で聞き取り調査を実施した。十団体のうち二団体が市の補助金「ふるさと創生ゆめ基金」を利用して事業を継続しているが、コロナ禍を理由に事業を停止した団体もあったという。教育民生常任委員会では、山崎智之議員(灘会)が質問した。二〇二〇年度に市基金が廃止され、ほか八団体は独自で継続しているが、資金不足やコロナの影響で停止したという。山崎議員は「継続するために再考が必要」と投げかけ、一般質問した木戸奈緒美議員(あすなろ)も丁寧な説明を求めた。(大野沙羅)

令和4年(2022年)9月27日(火)  
北陸中日新聞 朝刊 16面